



明治大学校友会  
柏地域支部

ホームページ <http://hakumei.apples.jp>  
Facebook <https://www.facebook.com/meiji.hakumei/>



— 第30号 —

発行日 令和4年7月1日  
発行 明治大学校友会千葉県  
西部支部柏地域支部  
発行人 竹之内 明  
住所 〒277-0805  
千葉県柏市大青田 1015  
電話集 04-7131-3080  
山田秋彦  
(☎ 04-7169-0333)  
E-Mail: hakumei2@gmail.com

P1: 第20回柏地域支部総会

P3: はくめい30号に寄せて②

P2: 総会出席者の写真、はくめい30号に寄せて①

P4: はくめい30号に寄せて③、イベントの予定ほか

第20回柏地域支部総会

仲夏の候、会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素から柏地域支部に對しまして、ご協力ご支援を賜り感謝申し上げます。

さて、令和4年度第20回柏地域支部総会を令和4年5月22日(日曜日)にハート柏迎賓館において開催いたしました。このように一堂に会しての総会は、令和元年5月19日の第17回の開催以来3年振りとなりました。

この時期、新型コロナウイルスの新規感染者は、減少傾向になってきてはおりますが、柏市内における感染者数は、人口比で全国平均・千葉県平均よりも高い状況でありますので、会場内のワンテール6人以内の席、仕切り板を設け密接密集を避けるなど感染予防対策を図り開催しました。

総会におきましては提案しました5議案全て出席者全員の方のご賛同を頂き閉会となりました。閉会后、会員の山田研一氏(昭和52年法卒)から寄贈頂きました明治大学のロゴマーク入りの紫紺色のマスクを着用し、テーブルのグループごと

に写真撮影し、その後、癌の手術を10回されたという会員の吉田昇司氏(昭和36年商卒)から「朝を迎えて4つの真面目」という演題で講演を頂き、講師の吉田氏には、申し訳ございませんでしたが、コーヒーを飲みながら拝聴させて頂きました。実体験からのお話しであり、出席者の多くの方から「非常に良かった」とのお声をお聞きました。

ところで、来年度の総会は平成15年11月15日に第一回の総会が開催されてから21回目となり、創設20周年の総会ともなりますので、多数の会員皆様のご出席を頂き懇親会も開催できることを願っています。

結びに、コロナ禍の社会状況の中、今回の定時総会にご出席頂きました会員の皆様に御礼を申し上げ、筆をおかせていただきます。

今回の柏地域支部の会報誌「はくめい」は第30回と一つの節目の回となるため、当地域支部設立時から会員である、佐々木利夫氏(昭和42年法卒)、山田研一氏(昭和52年法卒)、芳野富美代氏(昭和58年短卒)の3名のから創立時を思いながらの寄稿を頂きました。

柏地域支部長 昭和44年商卒

竹之内 明



2022年5月22日

講演中の吉田昇司さん

総会出席者の写真

テーブル別の撮影です。(敬称略)

第20回 明治大学校友会 柏地域支部総会・懇親会



第20回 明治大学校友会 柏地域支部総会・懇親会



第20回 明治大学校友会 柏地域支部総会・懇親会



第20回 明治大学校友会 柏地域支部総会・懇親会



第20回 明治大学校友会 柏地域支部総会・懇親会



はくめい30号に寄せて①

卒業(1967年3月)してから55年、司法書士事務所を開業(1973年4月)してから50周年、宝井講談修羅場塾に入門(1997年9月)して25周年、校友会柏支部が誕生(2003年11月)してから19周年、ブログ「平和憲法を世界へ未来へ」を初めて(2013年5月)から10周年が経ちました。この間に、市議(1975年〜1995年)を務めさせていただきました。

自由に気分に仕事がしたいと、文部省の外郭団体・私立学校教職員共済組合(現・日本私立学校振興・共済事業団)を5年で退職し、始めたのが司法書士事務所。いろいろの人の手助けを受けながら、大過なく今日を迎えることができました。

また、自分の定年を60歳と仮定して、趣味がないと老後がつまらなさと、思っているところに講談を教える「塾」があることを顧客さんから聞き、入門し発表会(第26回・1997年12月〜第70回・2019年12月)で毎回演目を変えて出演に努めてまいりました。師匠の六代目宝井馬琴(亡)の言葉に、世間では「講釈師見てきたような嘘を言いたい」と言われているが、この塾では「講釈師見てきたうで嘘を言いたい」という言葉がある。それはいいなあ、と納得し、演目のヒーローやヒロインの墓やゆかりの場所をネットで探し、6月と12月にある講演会のたびに半年かけて、調査探索のための旅行を楽しんできました。

因みに、後藤新平の講談ではオランダのアムステルダムへ、榎本武揚の講談ではロシアのサンクトペテルブルグへ、ベニスの商人の講談ではイタリ

アのミラノ・ベニスへ、一人旅を実行し楽しんできました。

今年の6月の「第73回講演会」では、豊臣秀吉の妻「寧々の眼力」の調査のため、寧々ゆかりの寺、京都の「高台寺」へ行ってきました。

支部の広報「はくめい」のイベント紹介に掲載していただいて以降、柏支部の方がいつも数人ご来場くださいます。第73回の講演会にも来ていただいた、校友会の山田研一さんが写真を撮ってくれました。



講演中の佐々木さん  
2022年6月12日

また、70歳にして自分が今の世の中の事で、知らないことだらけであるとはたと気づきました。

自分の無知を知った以上、すこしでも無知を解消するためにと始めたのが、東京新聞・朝日新聞を読んで署名記事・社説の中で自分の学びになる勝手に決めた記事をワードで筆写し自分の感想をつけて、ブログにオン（掲載）することにしました。因みに私のブログは校友会の山田秋彦さんに作っていただきました。

はじめてからほぼ毎日オンしていますので、ヤフーを開くと私の「平和憲法を世界へ未来へ」がいつもほぼトップに出ます。目標は掲載本数10,000本、訪問者数100万人ですが、達成までにはまだまだ先は長いようです。

そして、30代で柏市議になって、驚いたり、安心したりしたのが、市の職員や役員の中に明大の先輩や後輩が沢山活躍していたことでした。皆さんにいろいろご指導いただきました。

またその頃は、明大同窓生の職員が企画した「旅行」にも参加させていただきました、いい思い出が沢山できました。

白雲なびくならぬ白髪なびき、禿ましてきた今日この頃ですが、「日々の感動、100まで現役」をモットーにこれからも頑張りたいと思っています。ですので、よろしくお願いいたします。

昭和42年法卒 佐々木利夫

## はくめい30号に寄せて②

柏地域支部に機関紙の「はくめい」が創刊されたのは、支部が発足して5年目の2007年（平成20年）秋でした。創刊に至るまでの間は、総会・新春の集い・お花見など飲み会中心の行事ばかりと記憶してい

ます。「はくめい」は、千葉県西部支部が機関紙として発行していた「西部支部だより」の様な機関紙を

発行できないか、との意見から柏地域支部の活動をより広く知ってもらうことと校友間の情報交流を目的に山田秋彦幹事の発案で決まり、編集長を山田秋彦、発行者を支部長として現在に至っています。これまで、年2回の発行をコロナの時期にも継続してできたのは記事を寄せていただいた校友の方々のご支援と山田秋彦幹事のおかげと思っています。

校友会が、任意団体のOB会から大学の管理するOB会へと姿を変えることになり、そのために卒業生から任意に納入する校友会費を在学中に積み立てる方式に変えたことが柏地域部の結成につながったと聞いています。いわば大学管理のOB会の発足ともいえる改革でした。その証が、地域支部名が染めこまれた支部旗の贈呈です。

明治法律学校が創設された時期は、世界の強豪に飲み込まれないために強い国家運営が求められました。しかし、明治大学はその中で普通の人々がどのようにその世界を生きていくのかを権利自由・独立自治の考えで切り拓いた学校です。これは大六野学長が1月17日に開催さ

れた「大学発祥の地記念碑祭」で語られた挨拶からの受け売りです。

明治は遠くなりにけりという言葉があります。しかし、明治は今ある。目の前にある。これからだ、そして明るい未来がある。過去を大切にし、課題を解決しながら未来に向かう。そのためには、支援者としてのOB・OGが必要です。今後は「はくめい」にその役割を果たすことが求められています。先輩は己のことにまかせて後輩のことを考えなかったと陰口をたたかれないように支援の輪を広げるきっかけになるようにと期待しています。

思えば、当時の猪瀬支部長や宇都宮幹事長は70歳を越えていました。70歳を越えて支部を立ち上げ組織を整えたことは、中々できる事ではないと思います。その原動力は、大学の魂である「同心協力」と「前へ」の精神でしょうか。

「はくめい」は、柏明が最初名称案でした。それがひらがなの「はくめい」と変更されました。薄命と音が同じですが、長く続いています。30号が50号・百号と発行できるように皆さんと「前へ」の気概で進み結びましょう。

昭和52年法卒 山田研一

はくめい30号に寄せて③

明治大学校友会柏地域支部の前身組織を創設した有志諸先輩からお声掛けを頂き、以来、お世話になっております。諸先輩方々の個性あふれるバイタリティーにたくさん学びを頂いてきました。社会、環境等様々、変化する中、「個を強くする」という明大理念はこれからの生き抜くためにとても大切だと思います。

学生時代は軽音楽、合気道、映画研究会など、勉強よりも課外活動に夢中でした。軽音楽部の大先輩、宇崎竜童&阿木耀子ご夫妻はお世話になった母校の町お茶の水に恩返し+未来を生きる学生とOBとの世代を超えた繋がりをコンセプトにした「お茶の水JAZZ祭」スタートから現「お茶の水文化祭」の開催を通して、20年近く活動していらつしやいます。



お茶の水 JAZZ 祭

数年前には柏地域支部総会にて、軽音楽部OBバンドに演奏して頂いたこともあり、人生様々経験して来ましたが、現在は「学ぶ喜びを通し、自ら幸せな人生を拓くチカラを育む!」を理念として、「ママズリビング」小生、高校生までの学習サポート空間を運営しております。

生活は便利になったが取り巻く環境、情報過多による混乱など、子ども達はより「個を強くする」必要性に直面しています。学校という集団になじめなかったり、自分に対する劣等感を幼いころから身につけてしまったり、孤立してしまったり、「つよく」というよりは「自他を共に認めて、大切にしよう」という日本古来の教えが活きる時代。基本のシンブルな原点に戻り、老いも若きも何か好きなことを学びながら、お互いに教えあったりして繋がっていくような寺子屋的な空間への成長を目指しております。支えてくれる主人は修業を重ね現在は棟梁と

して「居心地の良い住まいづくり」(屋号 NEOFINE <https://neofine.jp/>)に励んでおります。持っているモノが多い少ないとか、あらゆる面での優劣に関せず、何かの共感や思いやりで繋がるのが、これからは益々大切だと考えております。



ママズリビング

「過ぎ去った日のことは悔いず、未だ来ない未来には憧れず、とりこし苦勞をせず、現在を大切にふみしめてゆけば身も心も健やかになる」(仏陀のお言葉)

昭和58年短法卒 芳野富美代

事務局からのお知らせ

●支部総会・全国校友会大会の中止  
今年6月と9月に開催予定であった千葉県西部支部総会と全国校友岡山大会は、いずれも新型コロナウイルスの影響で中止になりました。

●納涼会

暑い夏は冷房の効いた屋内で盛り上がる、という企画です。  
8月27日、キッチンスタジオ ガゼボ (090)7636 2506(金田)

●秋のはとバス観光

東京名物「はとバス」でバスガイドのウンチクを聞きながら、都心の見どころを60分で巡ります。  
10月15日(土)9時、柏駅集合 (090)6930 0782(宮本)

イベント予定

- 納涼会  
8月27日(土)キッチンスタジオ ガゼボ (090)7636-2506(金田)
- はとバス 東京パノラマ観光  
10月15日(土)  
☎(090)6930-0782(宮本)
- ホームカミングデー  
10月23日、駿河台校舎  
明大ホームページ等でご確認下さい
- 麻雀大会「冬の陣」  
12月10日(土)、我孫子「スティング」  
☎(090)6930-0782(宮本)
- 宝井講談修羅場塾  
12月10日(土)お江戸日本橋亭 (三越日本橋本店近く)木戸銭無料  
会員の佐々木利夫さんが出演予定  
☎(04)7164-0610(佐々木)  
--以降 来年(令和5年)の予定
- 新春の集い  
1月28日(土)福来麺菜館  
☎(080)3312-7846(今井)
- お花見会  
3月下旬の予定  
☎(080)3312-7846(今井)
- 柏地域支部総会  
5月21日(日)、ハート柏迎賓館、  
☎(080)3312-7846(今井)